

DATA

Panasonic Homes

パナソニック ホームズ グループ
環境パフォーマンスデータ 2019

地球温暖化防止に関する環境パフォーマンス

自己評価基準



2018年度 目標を達成しました。



2018年度 目標未達でしたが、前年度より改善しました



2018年度 目標未達および前年度より悪化。

目的

部門

INPUT

合計 759,394 GJ

総発熱量 176,186GJ

エネルギー

電力	13,955,408 kWh
A重油	169,670 L
LPG	8,915 kg
LNG	442,770 kg
灯油	8,600 L
軽油	145,062 L
バイオ軽油	2,415 L
揮発油(ガソリン)	99 L

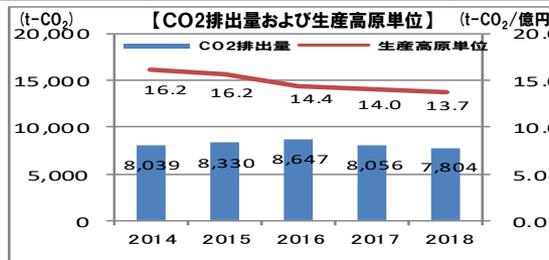
生産

部材生産、研究・開発
製品試験、倉庫、事務所

OUTPUT

合計 43,211 t-CO₂

CO₂排出量 7,804 t-CO₂



2018年度
実績/目標

自己評価

CO₂排出量
生産高原単位
13.7
/15.2
t-CO₂/億円



物流

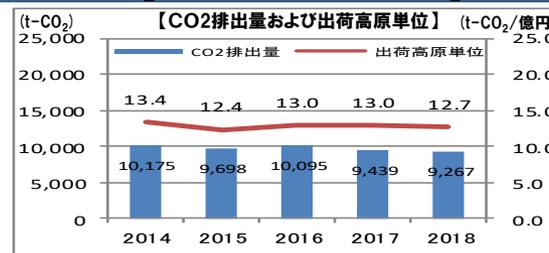
材料調達、販売・返品
廃棄物物流の荷主として

総発熱量 135,019 GJ

エネルギー

軽油	2,895,018 L
重油(内航)	134,795 L
軽油(廃棄物物流)	546,596 L

CO₂排出量 9,267 t-CO₂



CO₂排出量
出荷高原単位
12.73
/13.25
t-CO₂/億円



民生

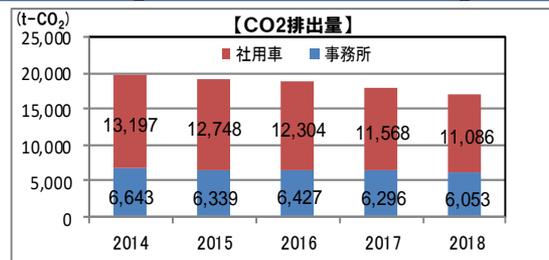
事務所、展示場、倉庫
賃貸拠点、社用車

総発熱量 311,390 GJ

エネルギー

電力	13,385,928 kWh
LPG	7,085 m ³
灯油	10,065 L
都市ガス	17,698 m ³
温水・冷水	8,009,099 MJ
ガソリン	4,741,284 L
軽油	29,410 L

CO₂排出量 17,139 t-CO₂



CO₂排出量
17,139
/19,967
t-CO₂



施工

総発熱量 136,799 GJ

エネルギー

電力	1,039,125 kWh
ガソリン	2,553,114 L
軽油	1,010,641 L

CO₂排出量 9,001 t-CO₂

サンプルデータによる
推定の為
目標設定値なし

地球温暖化防止

データの算出について

共通：CO₂排出量 = 各エネルギー消費量 × CO₂排出量原単位(電力は電気事業連合会発表係数(2006年度)、その他エネルギーは環境省「温室効果ガス排出量算定方法」による)

生産：自社工場の実績データ 物流：荷主実績データ(燃費法およびトンキロ法による算出) 民生：自社およびパナソニック ホームズ協業会社の実績データ(賃貸拠点の按分データ含む)

施工：サンプルデータ(建機の稼働時間・燃費・台数・移動距離、職人の移動距離・人工数)と供給実績からの換算

自己評価基準



2018年度 目標を達成しました。



2018年度 目標未達でしたが、前年度より改善しました



2018年度 目標未達および前年度より悪化。

目的

部門

CO₂削減貢献量
累計 66,564 t-CO₂

CO₂削減貢献 66,564 t-CO₂相当

削減貢献量

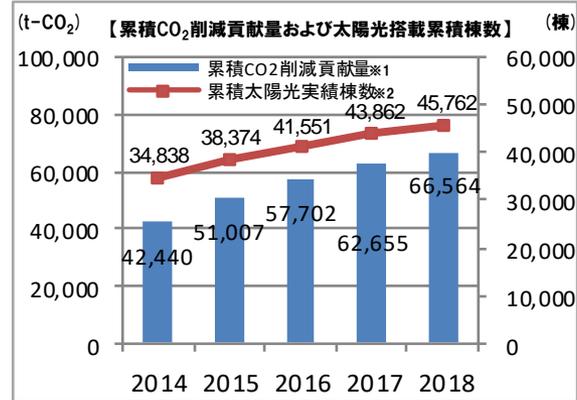
太陽光発電 62,210 t-CO₂相当

燃料電池 4,354 t-CO₂相当

創
工
ネ

太陽光発電、燃料電池
による削減貢献

地球温暖化防止



※1 2010年度以降のデータ

※2 2003年度以降の累積搭載データ

2018年度
実績/目標

自己評価

搭載率

戸建住宅
太陽光搭載率
38%
/49%

集合住宅
太陽光搭載率
5%
/17%

燃料電池
8%
/12%



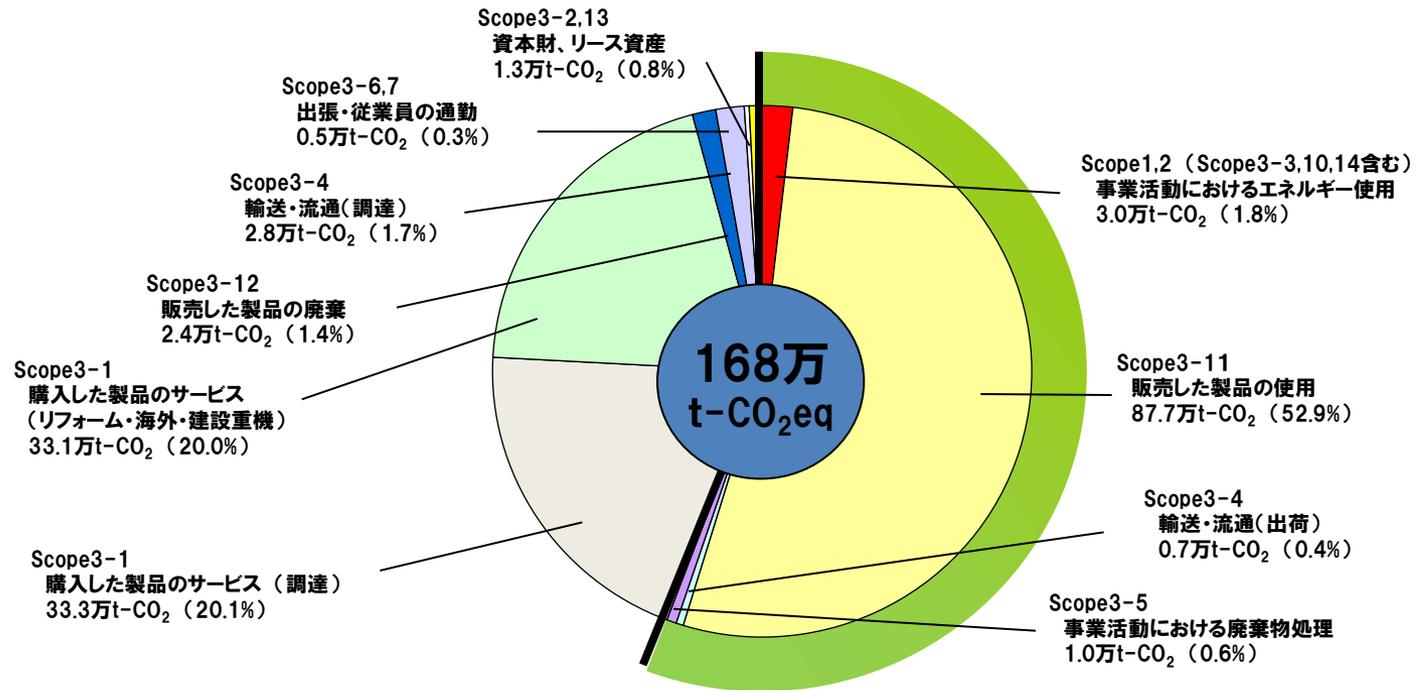
データの算出について

共通: CO₂削減貢献量 = 各商品搭載容量 × 設置台数 × CO₂削減量換算係数 (当社独自の係数を使用)

太陽光: 戸建住宅への太陽光搭載実績データ

太陽光 (リフォーム): 既存住宅への太陽光搭載実績データ

燃料電池: 戸建・集合住宅、既存住宅への燃料電池設置実績データ



カテゴリ	活動量
Scope1 直接排出	工場における生産エネルギー、事務所エネルギー（灯油・都市ガス等）、社用車エネルギー
Scope2 エネルギー起源間接排出	工場における生産エネルギー、建設現場における工事エネルギー（※1）、事務所エネルギー
Scope3 カテゴリ1 購入した製品・サービス	原材料・資材の調達量（金額及び物量ベース）、建設現場における工事エネルギー（※1）、解体工事におけるエネルギー（※2）、リフォーム工事、外構工事、海外事業（マンション等）等
Scope3 カテゴリ2 資本財	資本財の金額
Scope3 カテゴリ3 Scope1,2に含まれない燃料及びエネルギー活動	電気・蒸気エネルギー使用量
Scope3 カテゴリ4 輸送、配送（上流）	荷主分の輸送に係る輸送トンキロ、サプライヤー輸送による輸送トンキロ
Scope3 カテゴリ5 事業から出る廃棄物	<処理> 廃棄物種類別排出量、<輸送> 資材量×平均輸送距離
Scope3 カテゴリ6 出張	交通費支給額
Scope3 カテゴリ7 雇用者の通勤	通勤交通費支給額
Scope3 カテゴリ8 リース資産（上流）	Scope1,2で算定
Scope3 カテゴリ10 販売した製品の加工	建設工事における電気の使用量（持分法適用会社及び代理店の新築工事）（※1）
Scope3 カテゴリ11 販売した製品の使用	販売棟数×年間消費電力量×使用年数（60年）
Scope3 カテゴリ12 販売した製品の廃棄	販売棟数×資源使用量（キープラン）
Scope3 カテゴリ13 リース資産（下流）	カテゴリ11に含む。賃貸している床面積
Scope3 カテゴリ14 フランチャイズ	持分法適用会社におけるScope1,2（事務所・社用車エネルギー）

※1：工事エネルギーについては、プレハブ建築協会の環境行動計画「エコアクション2020」の建設現場のCO₂算出基準に基づきエネルギー使用量算出
 ※2：解体工事におけるエネルギーについては、平成21年度住宅・建築関連先端技術開発助成事業における「建築解体工事に伴う建設廃棄物量、解体工事費、再資源化、適正処理費用及び二酸化炭素排出量の概算システムに関する技術開発報告書」に基づき算定。

省資源に関する環境パフォーマンス

自己評価基準



2018年度 目標を達成しました。



2018年度 目標未達でしたが、前年度より改善しました



2018年度 目標未達および前年度より悪化。

目的	部門	INPUT	2018年度実績/目標	自己評価											
省資源(水資源)	生産 部材生産・研究・開発 製品試験・倉庫・事務所	<p>使用量 85,414m³</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">使用量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>上水道</td> <td>40,279m³</td> </tr> <tr> <td>工業用水</td> <td>2,599m³</td> </tr> <tr> <td>地下水</td> <td>42,536m³</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>85,414m³</td> </tr> </tbody> </table>	使用量		上水道	40,279m ³	工業用水	2,599m ³	地下水	42,536m ³	合計	85,414m ³	<p>【水使用量および生産高原単位】 (m³/億円)</p>	<p>2018年度 実績/目標</p> <p>生産高原単位</p> <p>144 / 150 m³/億円</p>	
		使用量													
上水道	40,279m ³														
工業用水	2,599m ³														
地下水	42,536m ³														
合計	85,414m ³														

目的	部門	OUTPUT	2018年度実績/目標	自己評価																			
省資源	生産 部材生産・研究・開発 製品試験・倉庫・事務所	<p>廃棄物・有価物量 7,889t</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>発生区分</th> <th>発生量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>木くず</td> <td>3,239t</td> </tr> <tr> <td>金属くず</td> <td>2,300t</td> </tr> <tr> <td>ガラス陶磁器くず</td> <td>1,754t</td> </tr> <tr> <td>廃プラスチック</td> <td>408t</td> </tr> <tr> <td>紙くず</td> <td>87t</td> </tr> <tr> <td>がれき類</td> <td>16t</td> </tr> <tr> <td>その他(汚泥、廃油等)</td> <td>85t</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>7,889t</td> </tr> </tbody> </table>	発生区分	発生量	木くず	3,239t	金属くず	2,300t	ガラス陶磁器くず	1,754t	廃プラスチック	408t	紙くず	87t	がれき類	16t	その他(汚泥、廃油等)	85t	合計	7,889t	<p>【廃棄物・有価物量および生産高原単位】 (t/億円)</p>	<p>2018年度 実績/目標</p> <p>生産高原単位</p> <p>13.9 / 15.9 t/億円</p>	
		発生区分	発生量																				
木くず	3,239t																						
金属くず	2,300t																						
ガラス陶磁器くず	1,754t																						
廃プラスチック	408t																						
紙くず	87t																						
がれき類	16t																						
その他(汚泥、廃油等)	85t																						
合計	7,889t																						
<p>廃棄物・有価物量 208,702t</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>発生区分</th> <th>発生量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>新築産業廃棄物</td> <td>23,205t</td> </tr> <tr> <td>解体・増改産業廃棄物</td> <td>185,497t</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>208,702t</td> </tr> </tbody> </table>	発生区分	発生量	新築産業廃棄物	23,205t	解体・増改産業廃棄物	185,497t	合計	208,702t	<p>【廃棄物・有価物量】</p>	<p>2018年度 実績/目標</p> <p>新築施工現場 延床面積当り (2019/3)</p> <p>20.32 / 12.99 kg/m²</p>													
発生区分	発生量																						
新築産業廃棄物	23,205t																						
解体・増改産業廃棄物	185,497t																						
合計	208,702t																						

データの算出について
 水資源: 自社工場の実績データ
 廃棄物: 有価物発生量については、自社工場の実績データ及び自社・パナソニック ホームズ協会の建設段階における実績データ

自己評価基準



2018年度 目標を達成しました。



2018年度 目標未達でしたが、前年度より改善しました



2018年度 目標未達および前年度より悪化。

目的

部門

OUTPUT

2018年度
実績/目標

自己評価

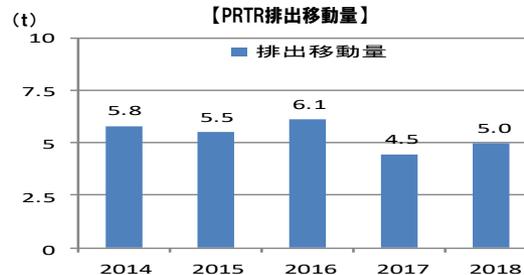
化学物質削減

生産

部材生産、研究・開発、
製品試験、倉庫、事務所

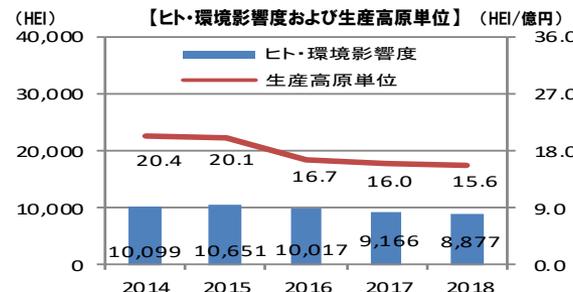
PRTR排出移動量

主なPRTR対象物質(第1種)	
トルエン	1,823kg
キシレン	1,239kg
エチルベンゼン	548kg
n-ヘキサン	410kg
1, 2, 4-トリメチルベンゼン	257kg
マンガン	187kg
その他	519kg
合計	4,983kg



ヒト・環境影響度

主な化学物質	
亜鉛	4,110HEI
ストリダードソルベント	1,834HEI
亜硝酸ナトリウム	826HEI
エチルベンゼン	548HEI
トルエン	182HEI
二酸化炭素	150HEI
キシレン	124HEI
その他	1,103HEI
合計	8,877HEI



ヒト・環境
影響度
生産高原
単単位

15.6
/17.6
HEI/億円



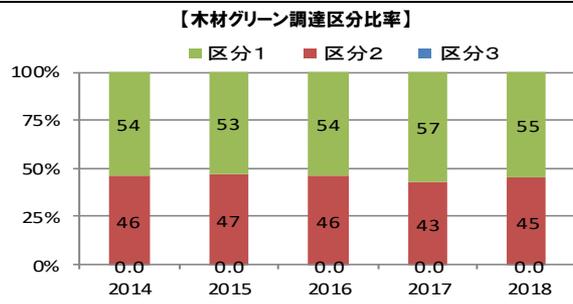
生物多様性保全に関する環境パフォーマンス

グリーン調達

生産・
施工

木材グリーン調達実績

区分	割合
区分1 適切に管理された森林から算出された 木材・木質材料 木質系再生資源	55%
区分2 伐採時の合法性が確認された木材・木 質材料 業界団体等によって合法性の認定が 得られている木材・木質材料	45%
区分3 伐採時の合法性が確認できない木材・ 木質材料	0%



区分C

ゼロ化
/ゼロ化



データの算出について

ヒト・環境影響度(HEI): 排出移動量に有害性係数(1~10,000倍)を乗じた値
木材グリーン調達: 自社・パナホーム協業会社の木材調達実績データ

目的

部門

環境コスト

環境効果

環境会計

生産
部材生産、研究開発
 製品試験、倉庫事務所

(単位:千円)

(単位:千円)

環境コスト	設備投資額	費用額	環境効果項目	2018年度実績
事業エリア内コスト (公害防止、省エネルギー等)	9,100	24,920	事業場エネルギー費用の削減 (省エネルギー等)	10,182
上・下流コスト (製品リサイクル等)	0	0	廃棄物処理費用の削減 (廃棄物処分、材料ロス等)	6,505
管理活動コスト (環境管理、事業内緑化等)	0	12,275	上下水費用 (水使用量削減等)	849
環境損傷対応コスト (環境修復等)	0	0	リサイクル品の売却益 (有価物売却益等)	58,599
合計	9,100	37,196	合計	76,136